

地域振興推進費事業計画・自己評価書（令和元年度実績）

提出区分		実績								佐久地域振興局		
整理番号		12		課題区分		C						
実施機関				佐久地域振興局				担当課	所属	商工観光課		
事業名				浅間山魅力発信事業				電話	0267-63-3157			
								E-mail	<a href="mailto:sakuchi-shokan@pref.nagano.lg.jp">sakuchi-shokan@pref.nagano.lg.jp</a>			
事業概要等	目的 (目指す姿)	浅間山の魅力について広報することで更なる誘客を促す。										
	現状と課題	平成25年の浅間山登山客数は約7万5千人であり、平成29年は約2万9千人と約半分以下の数値となった。平成30年8月30日に約3年2か月振りに浅間山の噴火警戒レベルが2から1へ引き下げられ、山頂火口から概ね2キロメートル以内立ち入り禁止から前掛山の山頂まで登頂することができるようになり、9月以降連日多くの登山客が訪れた。 そこで、浅間山の魅力について効果的な情報発信を行うことで登山客の更なる増加が期待できる。										
	内容 (変更後の内容)	浅間山(前掛山)、二つの登山口を結ぶ浅間山周遊登山、安全登山に向けた啓発に関する記事を5月に発売される登山情報誌に掲載する。										
	事業期間	平成31年4月				～		令和元年12月				
	成果目標 (成果指標)	浅間山の魅力について情報発信することで更なる登山客の増加を図る。(平成30年41.7千人)										
(単位:円)												
事業費等	事業を構成する細事業名等		実施内容			実績額		備考				
	浅間山タイヤアップ記事の掲載		来シーズンに向けた浅間山の魅力等に関する記事を登山情報誌に掲載			1,620,000						
	合計					1,620,000						
事業実績・成果	事業実績					事業の成果					評価	
	○5/15 山岳情報誌「山と渓谷 6月号」とタイヤアップし、浅間山への登山誘客のための記事を掲載					○発行部数180,000部の「山と渓谷」に記事を掲載し、全国の山岳ファンに浅間山の魅力を発信した。 ○噴火警戒レベル2でも楽しめる周遊登山や、安全登山啓発の内容も盛り込み、効果的な情報発信を行った。 ○平成31年(令和元年)の浅間山登山客数は26.3千人(速報値)。天候不良や8月の小規模噴火、令和元年東日本台風の影響により伸び悩んだ。					○ 期待以上 ○ 期待どおり ● やや下回る ○ 期待以下	
今後の方向性		8月以降、小規模噴火や東日本台風の影響により、浅間山登山客数は前年同時期に比べて減少傾向。最新の浅間山の状況に加えて、噴火警戒レベルに応じた浅間山の楽しみ方を、継続してより広く周知・情報発信する必要がある。										